

Vascular Failure 投稿規定

- I. 日本血管不全学会の公式出版物である Vascular Failure (略称: Vasc Fail) は、日本血管不全学会会員に加えて非会員からの投稿も受け付ける。本誌への投稿対象は、血管不全(内皮機能障害、平滑筋機能障害、炎症、酸化ストレス、およびアテローム性動脈硬化症のさまざまな段階で発生する神経体液性因子の変化を含む血管壁の異常)および関連疾患の臨床的または実験的研究とする。また、特定の分野の知見を要約した総説も投稿対象とする。原稿は、ICMJE の統一投稿規定 (Recommendations for the Conduct, Reporting, Editing and Publication of Scholarly Work in Medical Journals : <http://www.icmje.org/recommendations/>) に準拠している必要がある。
- II. 共著者は、The International Committee of Medical Journal Editorsの最新版統一投稿規定に示される役割を担った者に限る。著者資格の基準を満たさない研究貢献者はすべて、「謝辞」の項に列挙することとする。
- III. 採択後、論文の印刷、刊行、図表の引用および転載に関する許可の権限は日本血管不全学会に帰属する。また、論文の抄録部分のデータベースや抄録雑誌への二次的使用ないし転載、および当該論文の複製許諾権は日本血管不全学会に委託されたものとする。
- IV. 他誌より図表を転載する場合は、出典を明記し、著者が事前に転載許諾申請を行い、図の凡例に転載許諾を得た旨を明記する必要がある。例：(1) 'Adapted from reference xx with permission' (2) 'Reproduced with permission from xxxx, et al. (雑誌書誌事項) .
- V. ヒトを対象とした研究は「ヘルシンキ宣言(以後の改訂を含む)」、国により策定された医学研究に関する最新の法律および指針に、また動物実験は「大学における動物実験の実施に関する基本的な考え方について(日本学術審議会)」およびこれらに準ずる指針の規定を遵守すること。
- VI. ヒトを対象とする研究においては、患者等の匿名性を十分守ったうえで、論文中に患者(あるいはその代諾者)からインフォームド・コンセントを得たこと、またはオプトアウトを行ったこと、所属施設・機関等の倫理委員会・治験審査委員会等の承認を得た旨を記載すること。
症例報告においても、個人が特定される可能性が高いと考えられる場合、患者(あるいはその代諾者)から書面による同意を得たことを記載する。同意が得られなかった場合は所属施設・機関等の倫理委員会・治験審査委員会等の承認を得た旨を記載する。
保険外診療や適応外使用に関しては別途必要に応じて所属施設・機関等の倫理委員会・治験審査委員会等の承認を得た旨を記載する。
介入研究のみならず観察研究(後ろ向き研究含む)も所属施設・機関等の倫理委員会・治験審査委員会等の承認を必要とする。
ランダム化比較試験または特定臨床研究の投稿は臨床試験が事前に公的機関に登録さ

れたもの限り、投稿は CONSORT 声明に準じる。また登録番号を要旨に記載する。

VII. 原稿の提出：すべての原稿は Vascular Failure 編集事務局宛に電子的に提出する。責任著者（corresponding author）は、投稿前にすべての共著者が投稿に同意し、第Ⅲ項で示した著作権が日本血管不全学会に帰属することを確認する。また、論文が以下に記載した執筆要項に合致していることを確認し、英語の校正を行ったうえで、指定のカバーレターを投稿論文に添付して提出する。編集委員会で科学的知識を有するネイティブによる校閲が必要と判断した場合には、校閲を受けた証明書を提出すること。

VIII. 利益相反：

すべての著者は、最新の内科関連学会の利益相反（COI）に関する共通指針に準じて、バイオテクノロジーメーカー、製薬会社、または原稿で議論されている主題または資料に関与している他の営利団体との COI を開示する必要がある。責任著者（corresponding author）は、投稿時にすべての著者の COI を確認して報告する。

IX. 投稿論文は、他雑誌に発表された論文または発表予定の論文ではない、本誌のみに発表するものとする（図や表を含む）。

X. 執筆要項は以下のとおりとする。

投稿論文種別の文字数、文献数、図・表は以下の通りとする。

論文の種類別	文字数 (図表を含む 全文字数)	要旨	文献数	キーワード	図表数	補足文書 Supplementary files
原著（臨床・基礎研究） Original Article	6,000 words以内	250 words以内	制限無し	3-5個	8点以内	5個以内
総説 Review Article	6,000 words以内	250 words以内	制限無し	3-5個	8点以内	-
短報 Short Report	3,000 words	150word程度	15編以内	3-5個	4点以内	-
論説 Editorial	1,500 words	-	15編以内	-	2点以内	
コメント Letter to the Editor/Author's Reply	1,000 words 共著者は5名以内	-	10編以内	-	2点以内	-

原著論文 (Original article) の原稿構成は以下のとおりとする。

1. すべての原稿は英語 (米国のスペル) で、以下の仕様に従って作成する。
 2. ダブルスペースおよび十分なマージンをとる。
 3. タイトルページには以下を記載する。
 - (1) 論文の完全なタイトル (タイトルには略語を使用しない)
 - (2) 著者の名前
 - (3) 所属部門および機関名
 - (4) ショートタイトル (スペースを含み 50 文字以下)
 - (5) 助成金の有無および名称 (助成金の名称は本文の references の後ろにも記載)
 - (6) 責任著者 (corresponding author) の指名、所属、所在地、連絡先
 - (7) 原稿の総単語数 (タイトルページ、abstract、references、図表をすべて含む)
 - (8) 補足ファイル (Supplementary files) の数
 4. 2 ページ目には以下を記載する。
 - ① (1) 250 語以内の要約 (abstract)
 - ② (2) 3~5 個のキーワード
 5. 原著 (Original Article) の要約には、次の見出しを使用する。
 - (1) 背景 (研究の合理性)
 - (2) 方法と結果 (方法の簡単な提示と重要な結果の提示)
 - (3) 結論 (データ解釈)。
 6. 測定単位は、国際単位 (SI 単位) の使用を基本とする。
 7. 数字と単位を示すには、アラビア数字と標準の略語を使用し、数字や標準の測定単位を綴らないこと。
 8. 参考文献 (references) には、本文の記載順に連続した番号を付け、記事の最後に同じ番号順に一覧で記載する。参考文献の著者が 6 人以下の場合は、すべての著者を記載し、著者が 7 人以上の場合は、最初の 6 人の著者名を記載し、「et al.」を追加する。
 9. 参考文献に記載する雑誌のタイトルは、NLM Catalog (<https://www.ncbi.nlm.nih.gov/nlmcatalog>) の略称を用いる。
 10. 参考文献は、公開された資料のみとし、まだ出版されていない採択済みの雑誌または書籍を参照する場合は「In Press」と出版予定年を含める。オンラインでのみ公開されている資料を参照する場合は、「D.O.I」または「URL と最後にアクセスした利用可能な日付」を含める。
 11. 助成金、利益相反を references の後ろに記載する。
 12. 補足ファイル (Supplementary files) は以下のとおりとする。
 - (1) 投稿論文 1 本あたり最大 5 つの補足ファイル
 - (2) 補足ファイルに参照が含まれる場合は、補足ファイル内に個別にリストする。
- 総説、短報、論説、コメントの原稿構成は、原著論文に準ずる。

- XI. 論文の採択は、編集委員会で決定する。採択に当たって、編集委員会は原則として2名以上に査読を依頼する。採用の決定が行われた日を受理日とする。受理日以降は内容の変更（著者名の変更なども含む）は認めない。変更が必要な場合は、新規投稿扱いとなる。
- XII. 採択された論文のゲラは、校正のために著者に送信される。変更は、誤植またはデータの表示エラーに限定し、過度の修正は作者に修正料を請求する場合がある。
- XIII. 出版料金：投稿された論文の出版費用は無料とする。
- XIV. 別刷り：別刷りの注文は著者負担とする（100部あたりの概算費用は、カラーページを含めて25,000円+税）。

2021年3月20日改訂